

請願第 40号

平成30年 2月23日

川崎市議会議長 松原成文様

幸区在住者

ほか 13,360名

教育格差をなくし、「ゆきとどいた教育」を求める請願

請願要旨

平成23年の国会で全会一致で、小学校1年生1クラスの人数は35人以下に引き下げられました。そして、小学校2年生以上でも順次35人以下学級を推進することが定められました。そのとおり進んでいけば、平成29年度には中学校1年生まで35人以下学級になるはずでした。私たちは、国の責任で35人以下学級を進めることを強く求めます。

本市は、20政令市の中でも、最も財政が豊かな自治体です。川崎で学ぶ子どもたちのためには、国の施策待ちにならず、当面勉強が難しくなる小学校3年生まで35人以下学級になるように前進することが必要です。さらに、不登校が急増する中学校1年生でも35人以下学級にしてほしいという願いは切実です。

また、今年度から中学校でも給食がスタートしていますが、安全・安心で豊かな給食を実現するためには、全ての小・中学校に、給食事業を中心になって推進する栄養士を配置することが必要です。また、給食費は、横浜市が実施しているように、徴収業務は学校ではなく市が行い、教員が子どもと向き合う時間を保障することも必要です。

以上の趣旨により、以下の請願事項が、速やかに審議・採択されることを希望します。

請 願 事 項

- 1 国の責任で35人以下学級を中学校3年生まで早期に実施するよう、国に要望すること。
- 2 当面、市独自で、小学校3年生と中学校1年生を35人以下学級にすること。
- 3 安全・安心で豊かな給食を実現するため、全ての小・中学校に栄養士を配置すること。
- 4 教員が子どもと向き合う時間を保障するため、給食費の徴収業務は、学校ではなく市が行うこと。

紹介議員

沼 沢 和 明
市 古 映 美